

S C釧路という釧路を中心に活動しているサッカークラブチームがある。今年度、S C釧路は「第14回道東ブロックカブスリーグ」で1位となり、全道決勝大会兼2部リーグ参入戦へ出場。各地区代表6チームのリーグ戦で見事1位となり、2023年度リーグ2部への昇格を決めた。その立役者となったのが白糖学園9年生の遠藤煌太さんだ。チームのエースストライカーであり、多いときには1試合で6ゴールを挙げたことがあるという。「1部リーグにはトップレベルのチームが所属しており、その下が

2部リーグで、SC釧路はその下の道東リーグに所属していました。そこに勝たなければ2部リーグへ昇格できないので、無敗で勝つことができ良かったです」とほほ笑む。

遠藤さんは2つ年上の兄である魁人さんがサッカーをしていた影響で、6歳からサッカーを始めた。小学生の頃は、町内の『FCフォルテ』というチームに所属。中学生からは上のレベルを目指して、S C釧路に加入した。練習はほぼ毎日。釧路市内のサッカーグラウンドで約2時間のトレーニングに励んでいる。

「どんな練習でもつらいと思ったことはありません。練習が休みだったり、ケガをしたりしてサッカーができないことがつらいです」

遠藤さんは一昨年の12月、全道大会前日の練習で右腕を骨折。手術をして約1カ月で復帰することはできたが、その間はサッカーをやりたいという気持ちを抑えきれずにいた。「本当につらかったです。骨折をしてからは、ケガをしないように心がけました。それはプレーが消極的になるということではなくて、ケガをしない体づくりをするということです。どれだけサッカーがうまくなってもケガをして試合に出られなくなってしまう意味がありませんから」

遠藤さんはサッカーを通してたくさんの方のことを学んだという。

「試合で勝つ喜びを知り、勝つために努力することを学びました。負けたときは反省し、次に生かす。何よりも大切なことは、人への思いやりと感謝の気持ちを忘れないということです。毎日、釧路まで送迎をしてくれている両親をはじめ、自分が今こうしてサッカーができるのは、たくさんの人たちの支えがあるからで、そういう環境を与えてもらっているということには、本当に言葉では言い表せないくらい感謝しています」

遠藤さんは、道内で1、2位を争うサッカー強豪校の札幌大谷高等学校へと進学する。

「選手権優勝とプレミアリーグへの昇格を目標に、チームに貢献できる選手になれるよう頑張ります」

将来はプロのサッカー選手になることが夢という遠藤さん。これから本格的な物語が始まろうとしている。

遠藤煌太

えんどう こうた

2007年7月6日生まれ。白糖町出身。白糖学園卒業後、札幌大谷高等学校へ進学する。身長171cm、体重68kg。趣味はサッカーとゲーム。好きな食べ物は、お寿司。イカとエビ、マグロ、ホッキ貝が好き。



「勝つ喜びを知り、勝つために努力することを学びました。」



道東ブロックカブスリーグの試合でシュートをする遠藤さん。この試合では3ゴールを決めて、チームを勝利に導きました。